



Column  
万葉の歌人

ぬかたのおおきみ  
「額田王」

千年の時を超えて、いまだにファンを増やしている人気歌人「額田王」。彼女の恋愛といえば、天智天皇(中大兄皇子)と天武天皇(大海人皇子)の兄弟をめぐる三角関係が語り継がれています。兄弟の母である皇極女帝に仕えていた額田王を弟の天武が見初めます。そして二人は結ばれ、娘を一人もうけます。その約10年後、天武の兄である天智が額田王を妻に欲しいと言ってきます。弟には断れぬ理由があったのか、額田王は兄のもとへ召されることとなるのです。

それから10年ほどの時が経ち、彼女は別れた天武と再会し歌を交わします。それは互いを想い合う二人の心が共鳴し、奏でた美しい2首の歌でした(P140・P142参照)。

しかし、その恋愛は多くの謎に包まれています。全て明らかになるよりもベールに秘められているところが魅力でもあるのです。



第五章

つる想い

日増しにつる愛しい人への想いを  
情緒豊かに綴った恋の歌を集めました。